

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 未来を築くまごころ住宅

グループの名称 長もち快適九州の家

直近採択グループ番号 04-0103-0679

(グループ代表者)

代表者名 秋満 広明 代表者印

代表者所属先 秋満工務店株式会社

代表者所在地 福岡県行橋市南泉3丁目33-4

代表者電話番号 09-3031-7073

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社ブルケン・ウエスト 行橋営業所

事務局担当者名 工藤 剛寿 印

事務局郵便番号 824-0055

事務局所在地 福岡県行橋市上稗田6-5

事務局電話番号 09-3025-5445

事務局FAX 09-3025-5447

事務局担当者E-mail kitamoku-yuku@pony.ne.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		1	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸	
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		2	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸	
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸	
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		2	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸	
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸	
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		1	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸	
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		1	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸	
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		3	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸		
	申請が未確定(上限150万円)		1	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		1	戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸		
	申請が未確定(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸		
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	2棟	/			
			200㎡				
		申請が未確定	5棟				
			500㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	受注が確定視されている施工業者を優先し、他の材料を多く納品する予定のある施工業者と優先する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来を築くまごころ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 長もち快適九州の家	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0103-0679	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	当エリアは高温多湿な地域の為、シロアリの種類、数等が多く、その被害に対して九州産の杉を使用することにより防腐蚀性に優れ、弾力性・耐久性も向上する。また、シロアリを含めた防虫効果と防湿性がある。杉は加工が容易な上に綿密でくいが無く、日本人が好む強い芳香性を長期にわたって発する。合わせて夏の暑さ、冬の寒さを考え快適に暮らす為、断熱性の向上を図る必要がある。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	木造軸組工法、断熱等級4とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	街並みを損なわない家造り。	○
④①～③の背景	九州産の木材を使用し、断熱性に優れた「長もち快適住宅」	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	九州産の木材(杉、杉)を積極的に活用する事により、当エリアの活性化に繋がるよう努めていく。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	土台には桧105角以上を使用し、柱には105角以上の(杉、桧)を使用する。	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 必要数を確保し安定供給を行う。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 必要数を確保し安定供給を行う。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 快適に暮らせる家造りをお届けする為の勉強会。構成員全員対象。年間6回実施。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局による勉強会の管理。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地盤調査結果の説明会の義務化。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカット工場の見学会を実施し、木材検査、加工工程、開示させひんしつに対する信頼工場に努める。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見積書は使用する該当地域材の明記を義務とする。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅設備機器・資材などを中心とした商品の一覧表として作成してグループ内で共有。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループ構成員が積極的に有効的な意見を出し合い、生産効率の向上と「長もち快適の家」をお届けできるように努めていく。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来を築くまごころ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 長もち快適九州の家	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0103-0679	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	第三者機関である「快適充実の家」への未入会者への提案し、情報の共有、サービス活用で住宅履歴情報に生かしていく。	
①	住宅履歴情報の蓄積	○
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関である「快適充実の家」への未入会者への提案	○
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「快適充実の家」からの情報を精査する	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「快適充実の家」からの情報	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検・長期維持管理を実施	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検・長期維持管理を実施	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局管理のもと、構成員で定期的に会合を行う。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員での現場見学会の実施	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会などのイベントにて木工教室の開催	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカーショールームを活用して施主を対象とした展示会や相談会(水廻りのお手入れ)を実施	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で顧客管理支援システム(住宅履歴図書館)にて管理	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「快適充実の家」の支援サービスを利用する。	○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 万が一、施工業者が倒産した場合、事務局が相談窓口である事を施主側に周知させ、サポート体制をとっていく。構成員に完成保証制度の加入促進。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による講習会の実施	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 グループ構成員は第三者機関である「快適充実の家」に入会する。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員が全て長期優良住宅への取り組みをする為に、技術研修会を定期的に行う。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場視察を実施する。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的な会合を実施する。	○
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心とした各種セミナーの実施	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 知識向上を目指し、定期的なセミナーを企画主催し実施する。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 相談窓口を開けてグループ構成員同士の情報共有を図る	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 8 今年度の参加目標人数 7	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 4 今年度の参加目標人数 4	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局による講習会の日程の告知。代表者だけでなく従業員への積極的な参加を促進する	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技住力向上に努める為、各種セミナー等の案内を事務局が積極的に配信	◎
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 太陽光・HEMS・蓄電池システムなどの導入を構成員に積極的に提案する	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 事務局が中心となりグループ構成員の意見を取りまとめ、各種研修会などの開催の案内と参加呼びかけと共に、構成員同士のつながりを強化する為の情報交換の場(定期的な会議など)を設ける。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来を築くまごころ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 長もち快適九州の家	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0103-0679	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	柱・土台・桁・母屋には九州産材を使用	
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	○
	□ 50%未満 ■ 50%以上 □ 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	○
	主要構造材 土台: □ 使用していない ■ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している ※別紙参照	
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	◎
	□ ない ■ ある → 内容: グループ内の製材業者と密に連絡を取り合う	
	①-2 地域材価格の共有の仕組	○
	□ ない ■ ある → 内容: 材料供給の価格高騰を抑える為、必要数を確保し安定供給を行う	
	② グループ全体における地域材の需給予測	○
	□ 行っていない ■ 行っている → 内容:	
c	①-1 畳の活用	○
	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
	①-2 和瓦の活用	○
	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用	○
	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
	①-4 障子の活用	○
	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	○
	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	○
	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	○
	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 街並みに適した外観・デザイン	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	○
	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 木造軸組み工法・在来工法による木造住宅を造る「長もち快適住宅」を継承する	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	○
	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域の街並み景観向上に寄与できる外観形成(緑化)	
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	○
	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 住宅の内装・外装に木質化(無垢材)した部分で「和」を取り入れる	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○
	当エリアで活用できる(普及に貢献できる)素材をグループ構成員同士で意見を出し合い、提案・推進する。また、お施主様の家族構成・家族環境に合った快適な間取り造りを提案していく	

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	復興支援の取組みとして東北地方の建材(天井板他)を事務局が構成員に提案して使用を推奨する	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	特殊な資格(インスペクター等)有する構成員が現地から要請があれば柔軟に対応する。 また、熊本・大分両県に関連のある仕入先(木材・合板等)からの材料を事務局が構成員に提案して使用を推奨する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 未来を築くまごころ住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 九州
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 長もち快適九州の家	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0103-0679	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p> <p>柱・土台・桁・母屋には九州産材を使用。また、断熱性向上を目標とした家づくりに取り組んでいく。 九州産材の木材や木造住宅の良さを多くの人たちに幅広く知っていただく為にイベント等の開催により木に触れる機会を提供し、 当エリアの素材の普及に貢献できるような取り組みを推奨していく。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。